



The Lung

神戸大学大学院医学研究科
呼吸器内科学

第9巻 第1号 (2020年4月)

発行: 650-0017神戸市中央区楠町7-5-1
神戸大学大学院医学研究科呼吸器内科
TEL: (078) 382-5660 FAX: (078) 382-5661
<http://www.med.kobe-u.ac.jp/resp/index.html>

ごあいさつ

新緑の候 先生方におかれましては益々ご清
栄のこととお喜び申し上げます。

今年に入り、新型コロナウイルス感染症
(COVID-19)が猛威を振るっていますが、
COVID-19に罹患された方々、医療関係者、
ご家族の皆様には謹んでお見舞い申し上げま
すとともに、一日も早いご快復を心よりお祈り
申し上げます。

本日2020年4月17日現在、全世界での感染
者数は200万人に迫り、死者は13万人を超え
ました。日本でも感染者10,000名近く、死者
は148名、兵庫県でも感染者は450名以上とな
り、さらに増加傾向です。4月7日には緊急事
態宣言が発出され、兵庫県でも対策に取り組
んでいる状況ですが、感染者数の増加に伴
い、医療機関への負荷は非常に大きなものにな
ってきました。

神戸大学医学部附属病院では、感染症指定
医療機関である神戸市立中央市民病院の救
急医療や重症患者診療を補完する形で協力
してまいりましたが、兵庫県内の患者数増加
に伴い、県立加古川医療センターへの内科医
師による支援を開始しました。総合内科、循環
器内科、呼吸器内科を含め、広く内科の支援
を求めたのですが、積極的に支援を志願する
医師が多くおられ、4月20日より派遣するこ
とになりました。支援要請にこたえる先生方の
心意気に内科学講座チェアマンとして心より
感謝しています。

さて、右表に示しますように今年の4月には、
助教の梅澤佳乃子、大学院生の桂田雅大、三
輪奈々子、堂國良太、関谷怜奈が異動となりま

教授 西村 善博



した。兵庫県を中心とした呼
吸器診療の中核となる医療
機関でそれぞれの力を遺憾
なく発揮してくれるものと期待しています。代
わりに、神戸大学へは裏面に自己紹介を掲
載しましたが、池上帆波、川口亜記、矢谷敦
彦、山田潤が異動となり、附属病院・医員とし
て活躍しています。また、助教の梅澤の代わ
りに羽間大祐が特命助教に採用されました。
教員役割分担については下記にまとめます。
・診療課長補佐(医局長): 立原素子
・病棟医長: 山本正嗣・外来医長: 永野達也
・入退院係: 桂田直子・教育医長: 羽間大祐
先にも述べましたが、COVID-19については
すべての皆さんにも関係するもので、診療中
の感染防御に加えて日ごろからの手洗い・
手指消毒を中心とした感染予防策が特に重
要です。この嵐が過ぎ去ることを祈念してや
みません。くれぐれもご自愛ください。

目次:

ごあいさつ	1
人事異動	1
外来担当表	1
新入医局員	2
就任あいさつ	2
治験へのご協力 お願い	2
論文紹介	2

人事異動のご報告(2020年4月1日)

- ・梅澤 佳乃子 (H21年) 特定助教 → 愛仁会高槻病院
- ・羽間 大祐 (H22年) 大学院 → 特命助教
- ・桂田 雅大 (H19年) 大学院 → 丹波医療センター
- ・三輪 菜々子 (H20年) 大学院 → 西神戸医療センター
- ・関谷 怜奈 (H21年) 大学院 → 甲南医療センター
- ・堂國 良太 (H22年) 大学院 → 淡路医療センター

2020年4月からの外来担当表

お困りの際は、お気軽に初診外来まで。

	月	火	水	木	金
午前	佐藤 (初診)	大蔵 (SAS・COPD)	古川 (初診)	三村 (初診)	吉岡 (初診)
	桂田 (肺癌・一般)		羽間 (肺癌・一般)	山本 (肺癌・一般)	立原 (肺癌)
午後	安田 (喘息・COPD)	吉崎 (禁煙)	湯村 (呼吸器一般)	山田 (呼吸器一般)	永野 (呼吸器一般)
	池上 (呼吸器一般)				

神戸大学大学院医学研究科呼吸器内科学

電話 078(382)5660

FAX 078(382)5661

HP: [http://www.med.kobe-](http://www.med.kobe-u.ac.jp/resp/index.html)

[u.ac.jp/resp/index.html](http://www.med.kobe-u.ac.jp/resp/index.html)



新入医局員ごあいさつ

平成26年卒の池上帆波と申します。加古川中央市民病院で4年研修ののち、大学で勤務させていただくことになりました。慣れない環境に至らない点が多々あると思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

平成27年卒の川口亜記と申します。研修を大学病院で、その後明石医療センターで3年間勤務させていただいておりました。ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが頑張りますのでよろしくお願いいたします。

平成27年卒の矢谷敦彦です。卒後は、初期研修2年間で神戸大学医学部附属病院、後期研修3年間で加古川中央市民病院で勤務させて頂きました。未熟な点も多いかと思いますが、精進致しますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

平成27年卒の山田潤と申します。初期研修を淡路医療センターで、後期研修を高槻病院で勤務させていただきました。至らぬ点、未熟な点もあると思いますが、精一杯努力させていただきます。何卒よろしくお願いいたします。

特命助教 就任あいさつ

この度、特命助教を拝命致しました、平成22年卒の羽間大祐と申します。大学院ではシグナル統合学に学内留学させて頂き、腫瘍細胞に対するマクロファージの貪食を促進するペプチドの研究を行ってまいりました。4年間を通して学んだことを、少しでも後輩に伝えられるよう努めたいと思います。今春より病棟を担当しております。この4年の間にも肺癌診療は大きく進歩し、またイチから勉強と肝に銘じるとともに、以前病棟を診ていた頃とは立場も変わり、各スタッフが気持ちよく働けるよう全体を見通す目を持たねばと思っております。今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

Dolphin試験(WJOG11619L) やってます!

化学療法の副作用なく、免疫放射線治療の相乗効果を期待する革新的な試験です。現在、半数まで登録されています。引き続き、是非とも患者さんをご紹介ください!

治験

放射線治療

デュルバルマブ

最長1年

論文紹介2 ～神戸大学呼吸器内科から世界へ発信～

Katsurada N, Tachihara M, Hatakeyama Y, et al. Feasibility Study of Adjuvant Chemotherapy with Carboplatin and Nab-Paclitaxel for Completely Resected NSCLC. Cancer Manag Res. 2020;12:777-782.

肺癌術後抗癌剤治療としてのカルボプラチン(CBDCA)+ナブパクリタキセル(nab-PTX)の忍容性を評価した、単施設、第2相試験を施行しました。術後化学療法の標準レジメンは、シスプラチン+ビンoreルビンですが、シスプラチンを使用しにくい患者さんも多くおられます。本試験では、シスプラチンが適さない、高齢、腎機能障害をもった方が多く登録されました(18/21例)。主要評価項目である、4コース完遂率は63.2%(95%CI 38.4-83.7%)と、完遂率の閾値(50%)を超えることができず、用量調整が必要であることが示唆されました。(試験レジメン: CBDCA (AUC5) day1, nab-PTX(100mg/m²) day1, 8. 15を 4週ごと)

今後とも医療の発展のために、大学の使命として臨床研究を継続してまいります。今後とも何卒ご協力のほどよろしくお願いいたします。